

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会

(事務局：全国私立学校教職員組合)

No.3 2021年6月15日(火)

「2020年度(2021年3月)末私立高校生・ 中学生の経済的理由による退学と学費滞納調査」 地方紙が注目

新潟日報
6/9付

経済的理由の中退最少

20年度私立高国の支援金制度が効果

2020年度に経済的理

由で私立高校を中退した生徒は1校当たり0・04人で、1998年度の調査開始以降で最少だったことが8日、全国私立学校教職員組合連合(全国私教連)の調査で分かった。低所得世帯などを対象とした国の就学支援金制度が20年4月に拡充されたことが一定の効果を上げたと分析してい

る。

だが、中退の有無にかかわらず教員から「新型コロナウイルスの影響で失業した保護者がいた」との回答が複数あり、全国私教連は「家計悪化へのさらなる支援が必要だと指摘した。」調査は全国私教連に加盟する組合がある高校を中心に33都道府県の320校から回答を得た。全国の全日

制私立高の24・7%に当たり、在籍生徒数は26万8377人。

調査結果によると、中退した生徒は12人で、うち新型コロナウイルスによる家計悪化が原因と確認されたケースは2人だった。学費を3カ月以上滞納した生徒は456人で、1校当たり1・43人となった。

文部科学省によると、就学支援金制度の拡充で、授業料相当額を受け取れる対象者が増えた。

本県は中退者ゼロ

県内は18校が回答した。学費の滞納は35人で、1校当たり1・94人だった。滞納者のうち新型コロナウイルスが原因となったのは8人。経済的理由で中退した生徒はいなかった。